



『熊取町公民館・町民会館 第8回整備検討委員会』 資料

資料1	技術提案書
資料2	基本設計（4/30時点素案）
資料2-1	基本設計（4/30時点素案）における諸室整理表
資料2-2	これまでの意見に対する基本設計（4/30時点素案）における考え方
資料3	基本設計策定までの進め方について

2021年4月30日

人・活動・文化の交わりでくまの未来を紡ぐ

豊かな自然環境に囲まれた熊取、まちにつながり人の流れを呼びさまざまな活動や文化芸術を支える場をつくります。新たな出会いや多世代の交流が生まれ、活動の場が一人ひとりの新たな居場所となり、熊取の未来を支える文化芸術が育まれる場となります。

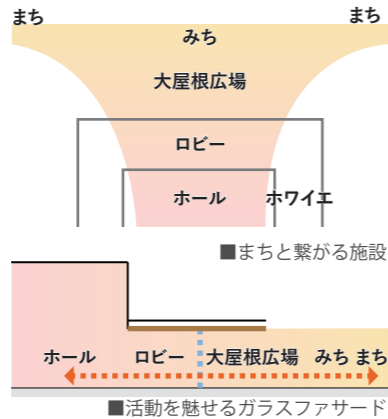


①「やすらぎ」と「ほほえみ」のまちや「子育てしやすいまち」のイメージを象徴する魅力的な外観を有するホールに関する考え方

人や活動を迎えるまちのランドマーク

まちに開き人の流れを受入れる大屋根

- ・建物を後退してできた建物前面のオープンスペースは、どこからでも気軽に立ち寄り、まちからの人の流れをつくります。
- ・広場に向かって伸ばした大きな屋根は、屋外でさまざまな活動ができるようにします。
- ・大きな屋根からロビーやホワイエまでつながる木製ルーバーは、屋内と屋外をひと続きの天井とすることで、人や活動を迎え入れ、にぎわいの流れを生みだします。



活動を魅せる開放的なガラスファサード

- ・北面と東面の外観は、屋外広場での活動やロビーやホワイエの活動がお互い見えるガラスファサードとします。にぎわいの様子やいきいき活動をする様を感じることができる開放的な外観とします。
- ・ホールの北側を開放しロビーとつながることで、広場からもホールの中の活動が垣間見え、さまざまな表情を見せる施設とします。

まちのアイデンティティを受け継ぐ新しいランドマーク

- ・自然豊かな熊取を感じ、町民に親しまれるまちのシンボルとして未来へ受け継ぐ外観デザインとします。
- ・外壁の一部やひろばの床仕上などにレンガ調のタイルを採用し、町民に親しまれる外観デザインとします。



②活動をホールのみで行うことができ、利用形態に応じた、利用しやすいホールの環境整備に関する考え方

町民のさまざまな活動を許容する開かれたホール

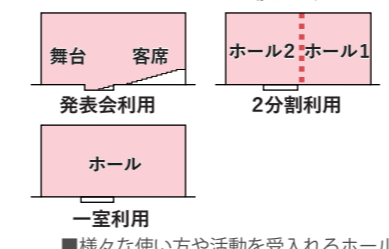
ハレの場としての魅力的なホールの雰囲気づくり

- ・サークル活動の発表会や学校の合唱コンクールなど、ハレの場として相応しい舞台としての環境整備を行います。
- ・温かみのある木の仕上に包まれた、町民に親しまれる空間とします。



様々な使い方や活動を受け入れるホールの環境

- ・ホールはロールスクリーンで簡易に間仕切ること、複数のイベント利用ができるようにします。
- ・舞台はホールの床と同じ高さとするので、平土間利用ができる計画とします。
- ・舞台袖を移動式の反射板で閉じることで、フルフラットな一室利用ができる計画とします。



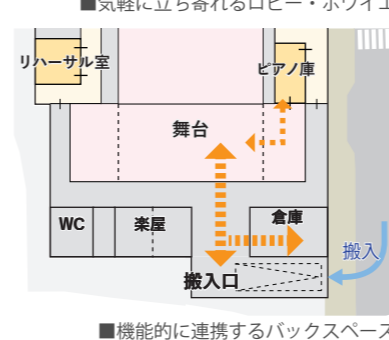
活動が垣間見えることで人が出会い、にぎわう施設

- ・1人でも多くの方にホールでの活動に興味を持ってもらえるよう、内部の様子が見える開放的な設えとします。
- ・気軽に立ち寄ることができ、多世代が交流するロビー・ホワイエとします。



活動をバックアップする後方諸室

- ・明快な室のゾーニングとし、舞台まで直接荷物が出し入れ可能な荷捌きスペースや移動しやすい楽屋の配置など機能的で管理のしやすいバックスペースとします。
- ・イベント等が開催されていない日は、リハーサル室での会議室利用や、ピアノ庫での楽器の練習など「重ね使い」で、より多くの部屋を町民が活用できる計画とします。

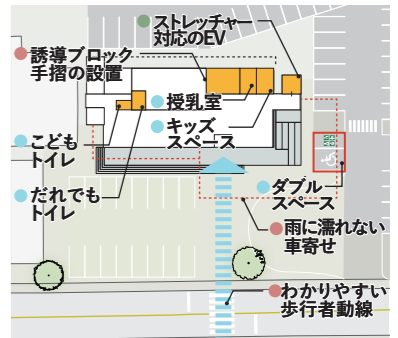


③施設の安全性の確保及びユニバーサルデザインの取組に関する考え方

だれもが気軽に安心して利用できる施設

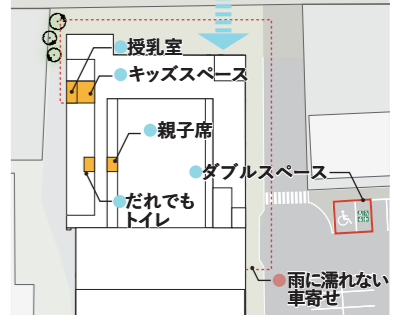
安心・安全に使える施設の環境整備

- ・分かりやすく利用しやすいシンプルな平面・断面構成とします。
- ・アクセスしやすい広い間口の風除室や段差を解消したスロープ、手すりの設置など、誰もが安心して快適に利用できる施設とします。
- ・簡単に開閉できる窓の設置や建物全体の換気対策、ソーシャルディスタンスが確保された利用スペースなど、さまざまな感染症対策の工夫により、安心して利用できる施設とします。



屋外施設の安全対策

- ・周辺施設の利用者を含め歩行者の安全性に配慮した歩車分離の徹底により、安全で安心な歩行者動線を計画します。
- ・車いす使用車駐車区画とゆずりあい駐車区画のダブルスペースの設置や、安全で利用しやすい駐車場の整備を行います。
- ・利用者の安全と利便性に配慮して、ホールと公民館を直線につなぐ位置に横断歩道を切り替えることを提案します。



多くの人々が気軽に使えるユニバーサルデザイン

- ・子育て世代や高齢者、初めて使う方などさまざまな利用者の視点に立って、使いやすく、分かりやすい、誰にでも優しい施設の環境整備を行います。
- ・職員の働きやすい環境に考慮し、使いやすく、管理しやすい施設づくりとします。
- ・災害時等においても安心・安全に機能する施設計画とします。

使いやすい・分かりやすい	
明快な平面構成 機能的なフロア構成	段差のない床 両側・二段手摺
ゆとりのある幅員 引戸・軽量建具	雨に濡れない 大庇のエントランス

だれにも優しい	
キッズスペース・授乳室・親子席	だれでもトイレ こどもトイレ
ダブルスペースを設けた駐車場	ピクトグラム、外国語表示 点字・大型サイン、触知図

いざという時にも対応	
トイレ呼出しボタン	飛沫対策の隔板 フィジカルディスタンスサイン
ストレッチャー対応エレベーター	音声や点滅機能による誘導案内

■ユニバーサルデザインの取組

①誰もが気軽に立ち寄れるような、開放的で居心地の良い空間の整備に関する考え方

さまざまな活動が生まれる居心地のよい場づくり

- ・多くの人が集まる大きな空間や少人数で落ち着いた小さな空間、集中して作業するスペースなど、利用者が思い思いの場所で、さまざまな過ごし方で楽しめる施設づくりとします。
- ・中の活動が垣間見えるよう開放的な設えとして、気軽に立ち寄りやすく活動に参加できる施設とします。

さまざまな活動を許容する開かれたホール

- ・通りや広場から作品展示や活動の様子が見えるロビーやホワイエ、ガラス張りで練習の様子が分かるピアノ庫、ロビーに向かって開放できるホールなど、まちに開かれた施設として、気軽に訪れ、人と出会い、活動ができる計画とします。
- ・舞台前は掘込んだ床を活用し、座席を配置します。乾式床を設置することで、ホールから舞台までフルフラットとなり平土間利用が可能な計画とします。

日常の居場所となる公民館

- ・芝生広場に面して全面開放した1階は、待合のリビングコーナーや、本棚や低い間仕切りの学習スペース、個室ブースのPCコーナーなど、思い思いの場所で自分の時間を過ごすことができる空間とします。熊取の魅力・情報発信や新たな出会いの場としてコミュニティを育むラウンジ空間とします。

②定期利用団体の活動の継続や利便性の向上と、学生、若者、子育て世代及び社会人後世代等の利用促進を両立できる諸室・機能・設備に関する考え方

日常のにぎわいの延長線上にあるハレの場づくり

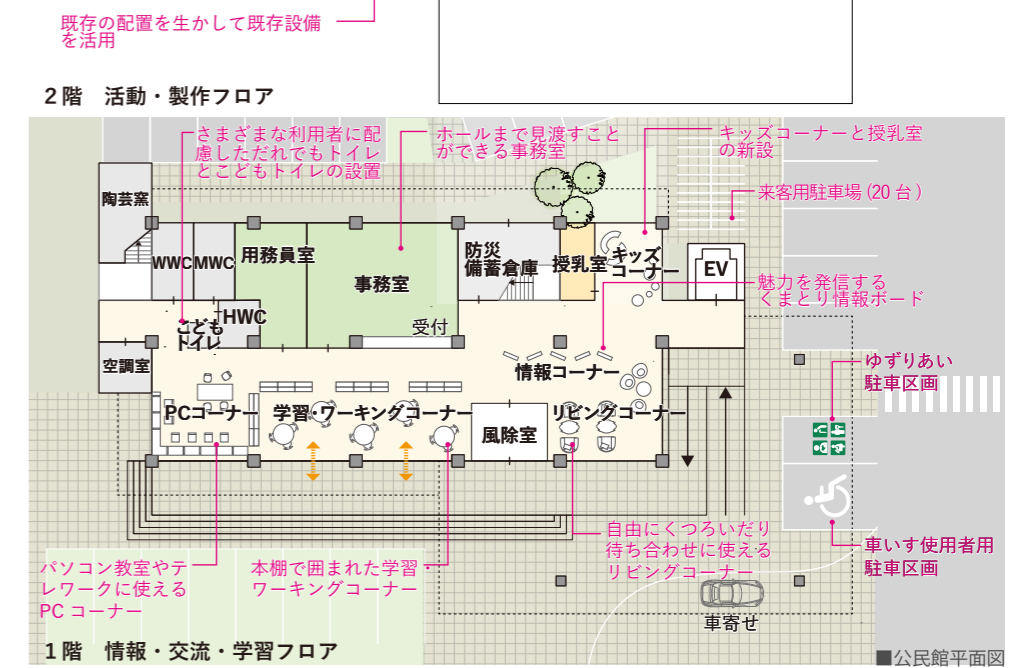
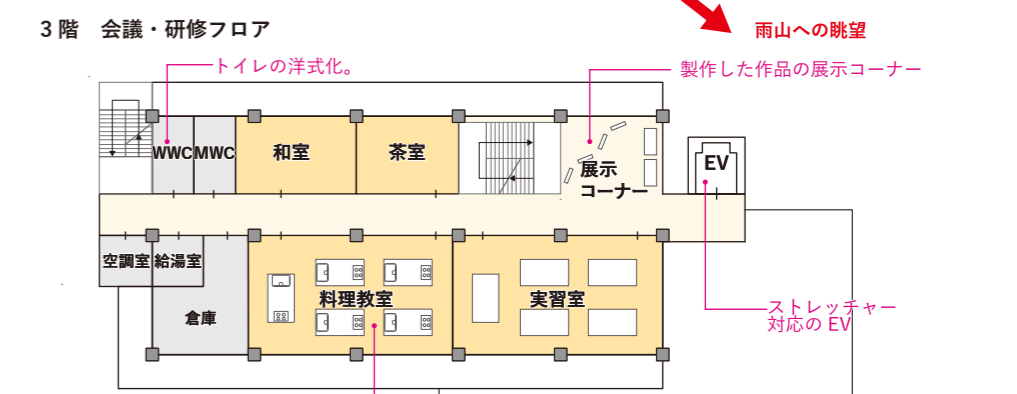
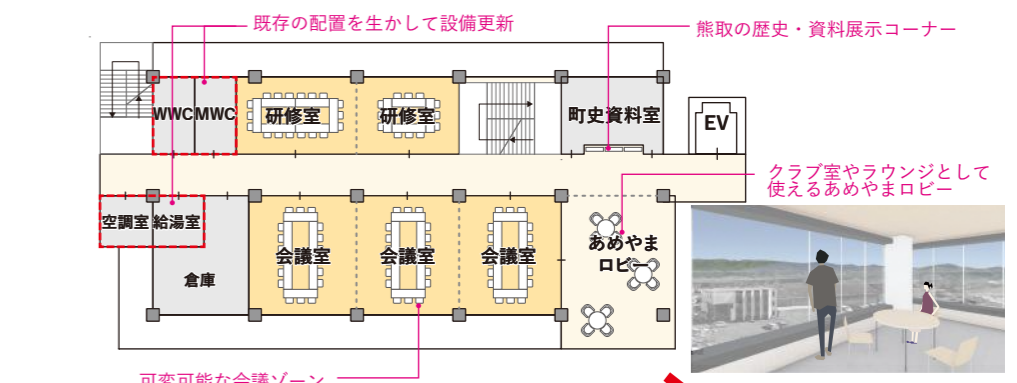
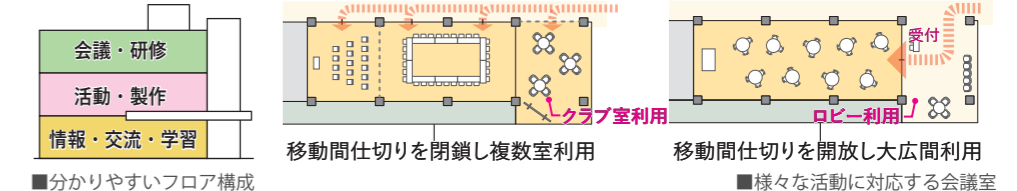
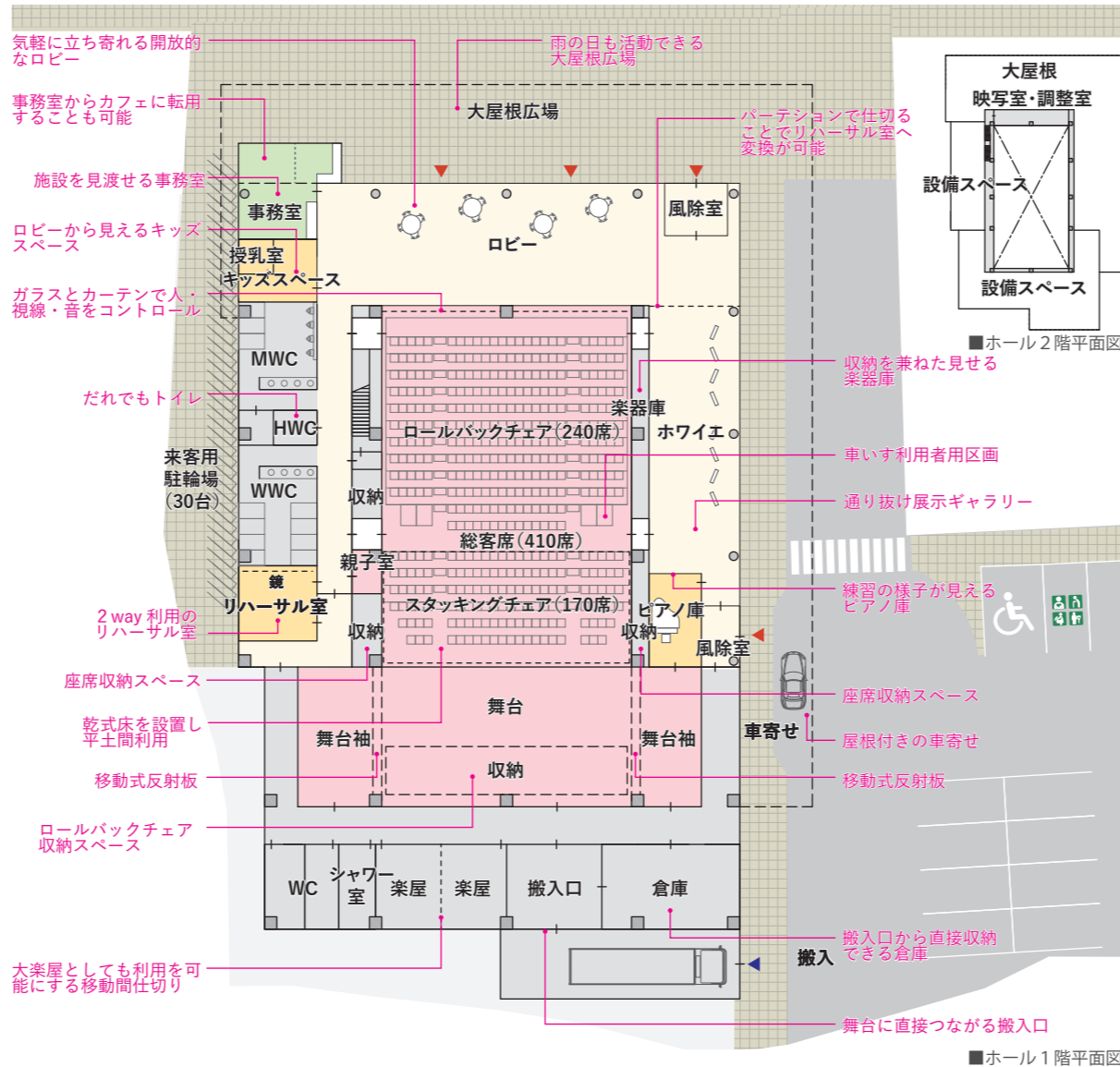
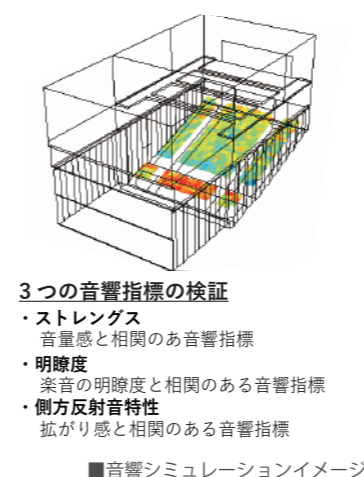
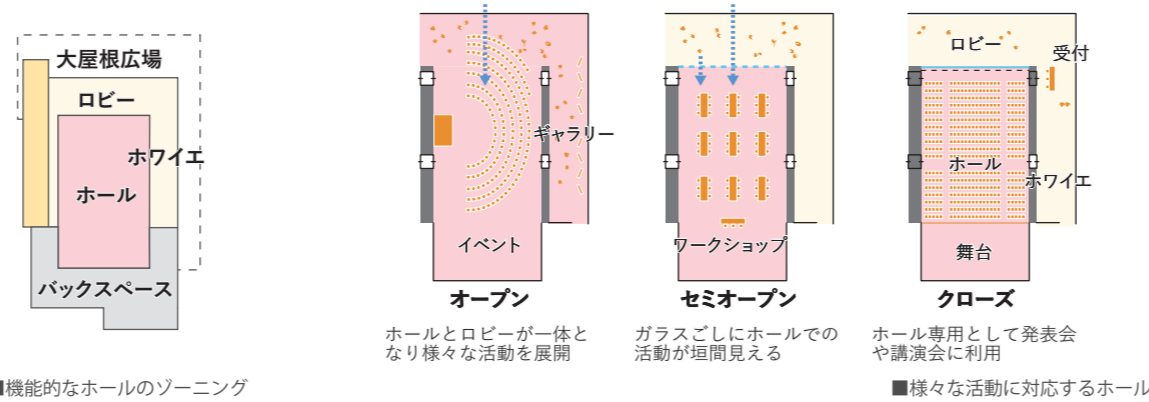
- ・既存の利用者や新たな利用者にも使いやすい、さまざまな使い方に対応・可変できる施設計画とします。
- ・日常の活動に加え、発表の場として相応しい魅力的なハレの場として設えます。

愛着を感じる魅力的な空間とさまざまな演出が可能なホール

- ・地車の腰回りの意匠をモチーフとしたホールは、躍動感のあるいきいきした活動を支え、木のぬくもりが包み込む魅力的な空間とします。
- ・シンプルなボックス型のホールは、カーテンやロールスクリーンなどによる残響時間調整を行い、音楽から演劇、講演会まで幅広い残響空間を可能とする音場づくりを行います。
- ・ホールとロビーはガラス建具と質量のあるカーテンの開閉で、人の行き来や視線・音をコントロールします。
- ・ロビーから見えるキッズスペースや授乳室、こどもトイレの整備、オストメイト対応しただれでもトイレの整備など、多世代の利用を想定した心配りのある施設を目指します。

使いやすく機能性に優れた公民館

- ・利便性に配慮し、階ごとに機能を集約したフロア構成とします。1階はコミュニティラウンジラウンジを中心とした「情報・交流・学習等」の活動フロア、2階は調理室や工作、各種サークルなどの制作活動室を集約。3階は規模に合わせて可変できる会議や研修スペースとします。
- ・共用スペースは隔板で区切りミーティングスペースとして活用する他、製作した作品の展示や、ホワイエとして会議室の受付利用など、各種イベントに合わせて有効活用できる計画とします。





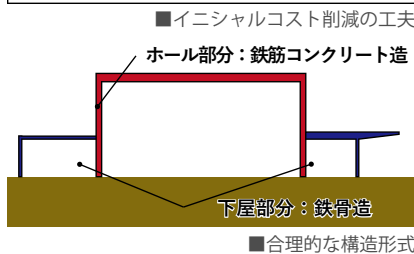
①必要な機能と品質を確保したうえでのイニシャルコストの抑制に関する考え方

必要機能を備えたコンパクトな施設計画によるイニシャルコスト削減

合理的なホールの構造・設備計画

- ・ 工事に占める割合が大きい構造躯体部分について、機能性や意匠性を考慮し合理的に作ることで、工事期間の短縮やイニシャルコストの抑制を図ります。
- ・ 舞台を含むホール部分は、耐震性と剛性が高く、遮音性にも配慮した鉄筋コンクリート造を採用します。内外装の仕上げの省力化にもつながり工期短縮かつ工事費削減を実現する計画とします。
- ・ ロビーやホワイエなどの下屋部分は、重量が軽くまた開放的で軽やかさを表現する鉄骨造を採用します。
- ・ ホールでのさまざまな演目に必要な機能や性能を確保しながら、イニシャルコストを削減する計画とします。

- ・ 特定天井を避けたコンクリート天井
- ・ フラットでスロープやせり等を設置しない舞台構造
- ・ ホールと同じ高さに抑えたフライタワー
- ・ 移動観覧席と掘込床に設置したスタッキングタイプの座席
- ・ 質量のあるカーテンやロールスクリーンによる残響時間の調整
- ・ 自然排煙や自然換気が可能な高窓の設置
- ・ 現場作業を省力化するモジュール化部材や工業製品の採用



②中長期的なライフサイクルコストの抑制、施設運営に係る光熱費などのランニングコスト抑制に関する考え方

効果の高い環境技術の採用によるライフサイクルコスト削減

環境にやさしい施設計画

- ・ 建物の長寿命化対策によりライフサイクルコストが削減できる計画とします。
- ・ 熊取町の風土や気候、建物の立地環境を考慮し、太陽光発電や雨水利用の活用等、設計段階での徹底したイニシャルコストとランニングコストの比較検証により、効果的で実効性のある環境技術を採用する計画とします。
- ・ ホールのロビー及びホワイエは西日を受けない方角とし、ガラス張りで明るい空間としながら空調負荷の低減できる計画とします。

管理しやすい施設づくり

- ・ 分かりやすいサイン計画やタイマーや人感センサーによる照明設備の採用、簡単に操作できる設備方式の採用、スイッチの集中配置など日常の運営管理が容易に行える計画とします。
- ・ 将来の利用者ニーズの変化に合わせて可変できる施設づくりとします。
- ・ 清掃や保守点検、修繕に配慮した仕上げや設備機器により、維持管理補修がしやすい施設とします。
- ・ 設備機器や幹線設備、内装工事の更新時期を同期化し、修繕工事の合理化と道づれ工事の削減を図ります。

	導入項目	効果
自然エネルギーの利用	・ 自然採光 ・ 自然換気 ・ 外気冷房 ・ 太陽光発電 ・ 雨水利用	発電量やエネルギー削減量を「見える化」、環境に対する意識向上に貢献
負荷削減	・ 日射遮蔽(庇) ・ 太陽光パネル ・ 全熱交換機 ・ 人感センサー ・ 高効率な設備機器	エネルギーの見える化 設備機器、内装等の修繕周期を合わせ、修繕の合理化と道連れ工事の削減
高効率化	・ 照明器具(LED)	幹線設備 設備機器 内装 30年 30年 30年 15年 15年 15年 15年 15年 同期化 同期化 設備機器更新の同期化

砂や埃など飛来物からの保護
大屋根により雨掛りを減らし維持管理費を削減

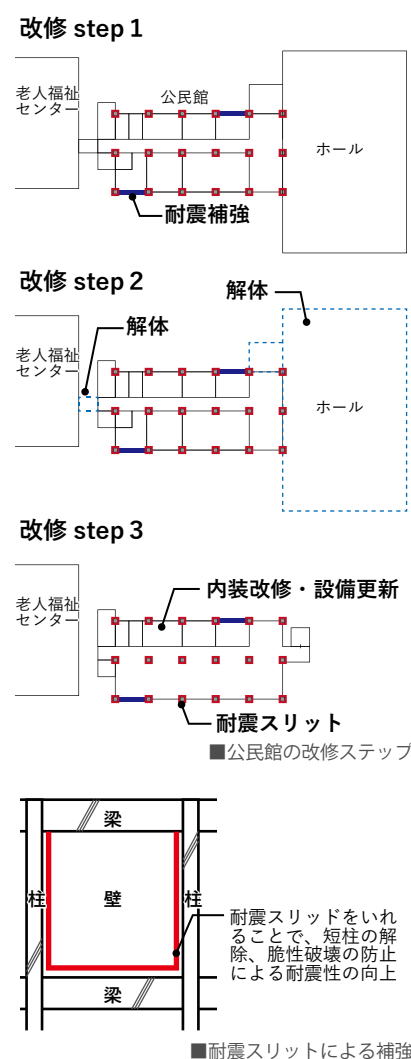
大屋根

エネルギーの見える化

環境配慮項目をまとめたパネルを展示
くまどりエコパネル

効果的な耐震工事で効率的な改修工事で生まれ変わる公民館

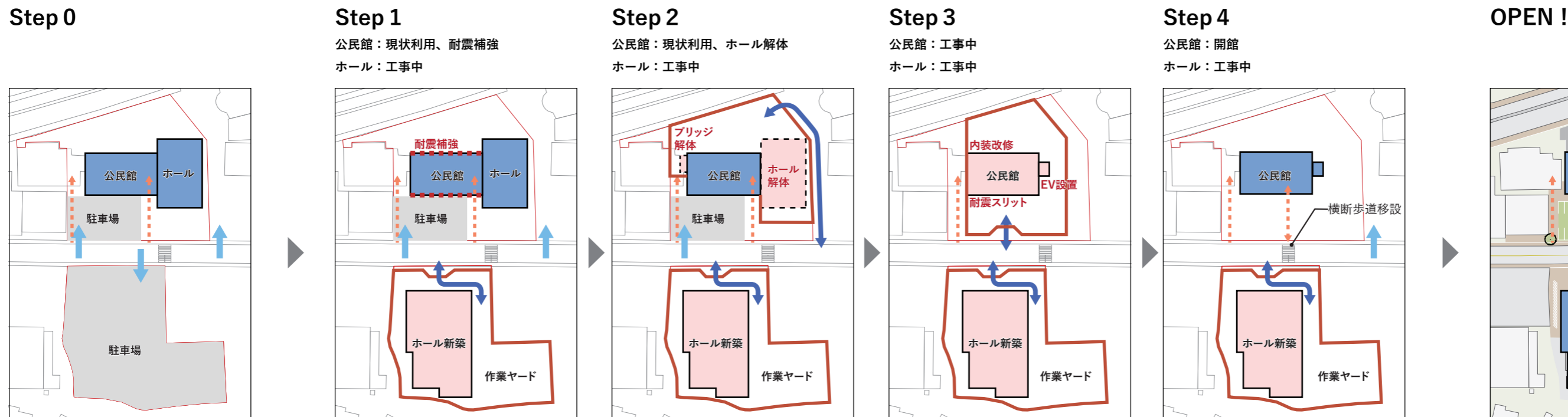
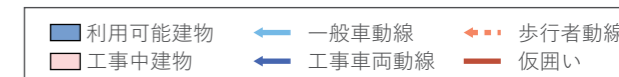
- ・ ホールの解体及び既存公民館の改修工事は、日常の町民の活動を妨げる期間を最小限としながら、イニシャルコストとランニングコスト削減に配慮した方法で行います。
- ・ 老人福祉センターへの通路の分離と重量が大きく耐震要素が少ないホール部分を分離・解体することで、公民館の構造的バランスが良くなり、耐震性が向上すると考えられます。
- ・ 公民館の耐震補強方法は、耐震診断結果を元に工事中の安全性や改修後の意匠性などに配慮し、経済性に優れた工法を検討します。
- ・ 「耐震スリット」の設置により、短柱を避けることで柱の脆性破壊を防ぎ、耐震性を向上させます。
- ・ 既存躯体の柱や壁の周囲に高延性材を接着することでせん断強度や変形性能を向上させる「包帯補強」や、既存建物の外側に新たに補強フレームを構築し接合することで耐震性能を向上させる「外付け耐震補強工法」等を比較検討し、必要な強度を確保させます。
- ・ 躯体への床開口や新設のスリーブなどを減らしたため、既存の水廻りや階段室を活かした室の配置とします。
- ・ 活動室の合理的な機能配置転換により、経済性に配慮しながら効果的に利用しやすい公民館に改修します。



施設の休館期間及び事務所の利用不可能期間が最小限となるように配慮した工事手順や仮設計画の工夫、工事期間中の駐車場の確保及び歩行人等の安全性の確保に関する考え方

安全・短期間な工事で“ともに”つくる施設づくり

- ・周辺施設の利用の安全性や使いやすさに十分配慮し、町民の活動拠点である既存施設の閉鎖期間を短縮する計画とします。
- ・町民や関係者などとの徹底したコミュニケーションにより、町民に親しまれる施設づくりに取組みます。



■安全に進め、工期を短縮する工事の手順

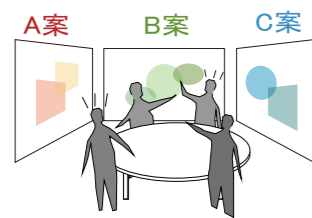
設計期間

新しいホールの建設、既存施設の解体・公民館の改修

開館・運用

思いをカタチにする取組み方針

- ・複数のホールにおける設計・監理経験を有するスタッフに加え、舞台機構や音響・照明設備など専門性の高い分野のコンサルタントと協働し、高質で高機能な施設を実現します。
- ・基本構想でのアンケート結果の分析や計画への反映など町民や関係団体の意見を柔軟に取り入れた計画とします。
- ・工程やコスト等に影響する工事段階における課題事項を具体的に想定し、解決策を先行検討するフロントローディングの設計手法で、工事の遅延リスクを減らします。
- ・模型やCGを使用した、分かりやすいプレゼンテーションで、共に作り上げるプロセスを大事に設計に取り組みます。



■複数案による比較検討

安心・安全に工事を進める工夫

- ・公民館・ホールや周辺の公共施設、近隣店舗など利用者の安全性を最優先し、効率よく工事が行える施工手順や仮設計画を行います。
- ・工事の各段階において、安全に通行できる歩行者動線の確保や、盛替えが少なく駐車台数が多く確保できる駐車場の計画とします。
- ・公民館の利用しながらの改修工事に配慮し、仮囲いや養生、落下物対策など安全に利用できるようにします。

安全性に配慮した工夫

- ・工事車両出入り口を歩道からセットバックさせ、歩道の見通しを確保
- ・仮囲いの設置により死角となる場所をつくらない
- ・サイン表示などによる利用可能施設や駐車場の見える化 (MAP 掲示や HP など)

作業効率に配慮した工夫

- ・重機や工事車両の作業性を考慮した作業ヤードの確保
- ・駐車場の盛替え回数を減らす工事ステップ計画

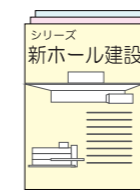
■安全性と工事効率の両立

工事の効率化と居ながら工事で閉鎖期間を短縮

- ・地盤調査の結果をもとに、特殊な工法を避けたシンプルな構造形式や基礎構造を採用することで、経済的かつ工期が短縮できる方法を検討します。
- ・モジュール化された部材や工業製品の採用により、現場作業を削減することで工期を縮減します。
- ・ホールの解体は、工事に先立ちコアポーリングとワイヤーソー切断の併用にて公民館と縁を切ることで、解体時に公民館躯体に損傷を与えず、また振動伝搬を防げるため、公民館利用が継続できる計画とします。
- ・公民館の躯体の耐震補強は、粉塵や臭気、騒音等が少ない工法を選定し、また屋内での作業を必要としない工法や部分的に限定した箇所での作業などにより、室内の利用にできるだけ影響のない方法とします。
- ・公民館の一時閉鎖期間は、設備や内装改修の期間に限定し、その期間内に合わせて音の発生する工程を集約することで効率化を図り、利用者にも職員にも配慮した工事とします。

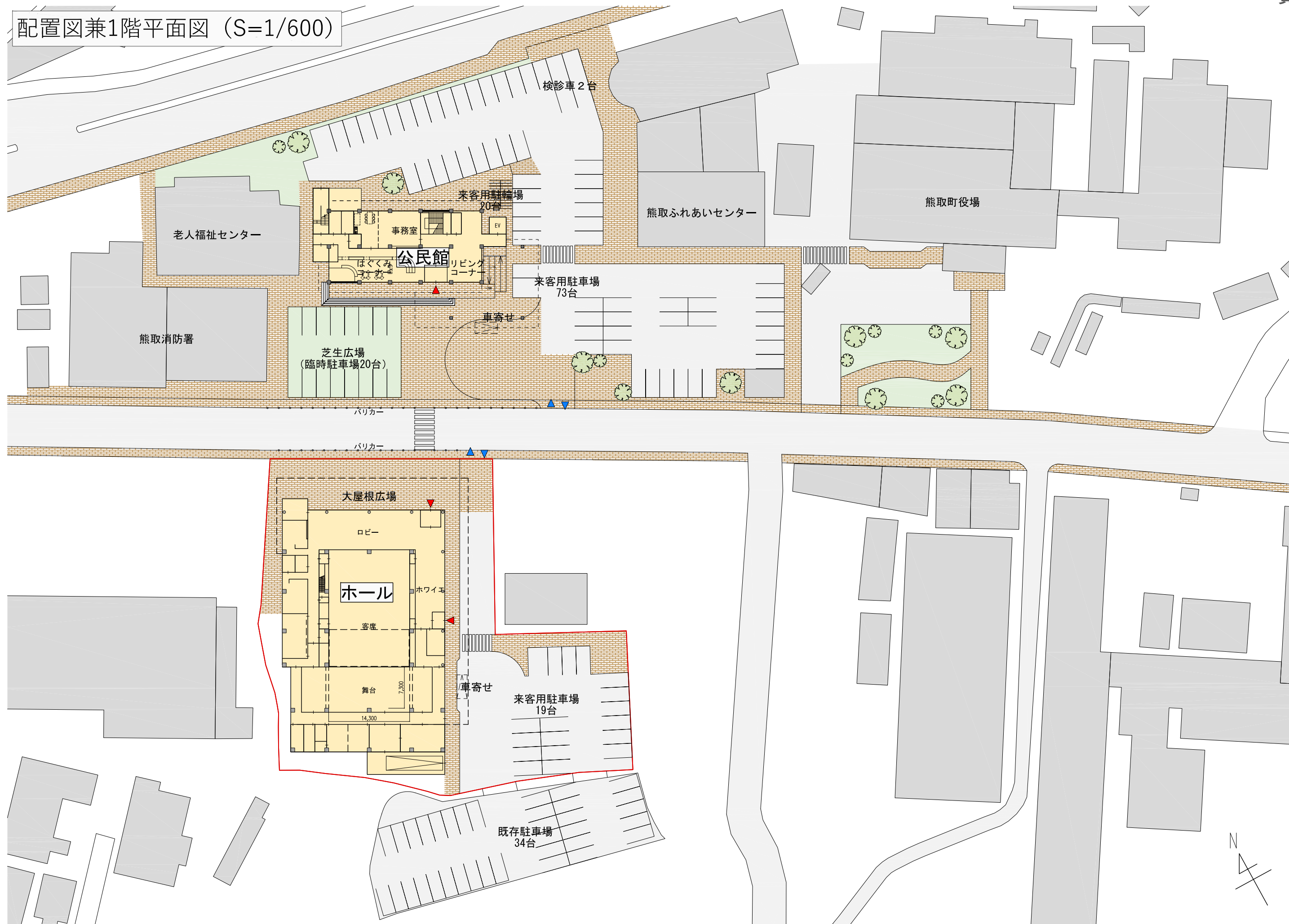
ともにつくるまちの”人・活動・文化”交流施設

- ・計画から設計、工事の各段階の様子について、ホームページや「広報くまどり」、公民館の掲示板、工事中の仮囲いなどさまざまな機会や媒体を通じて情報発信することで事業に対する理解や協力、開館後の利用の促進を図ります。
- ・既存施設の利用者やこれまで公民館・ホールでの活動に興味を持っていなかった人々も巻き込んだ、まちの活性につながる活動とします。
- ・工事着手時に設計内容説明会を開催し、設計主旨や課題などを施工者と共有することで、施工時の課題解決に向けて工事の効率化に寄与します。

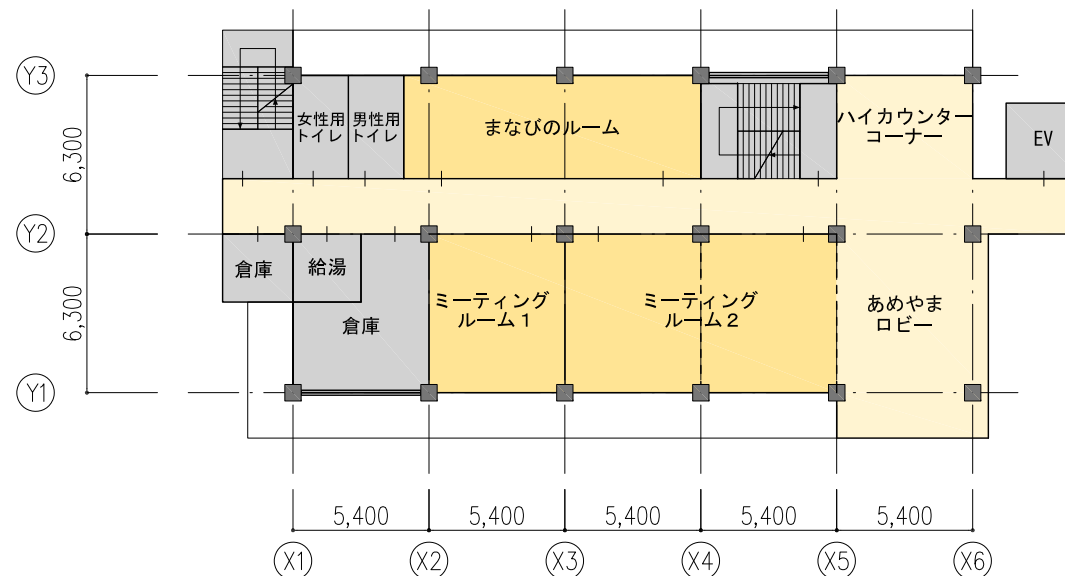


多くの花が集まり1つの花の形を形成する「ひまわり」のように、町民の一人ひとりの個性が集まり、様々な活動が生まれ、文化が育まれる拠点として生まれ変わり、いきいきとした活動や文化芸術の創造が、まちに広がり明るく魅力的なまちへと発展していくことで、「住みたい住んでよかった”やすらぎ”と”ほほえみ”のまち」が実現する

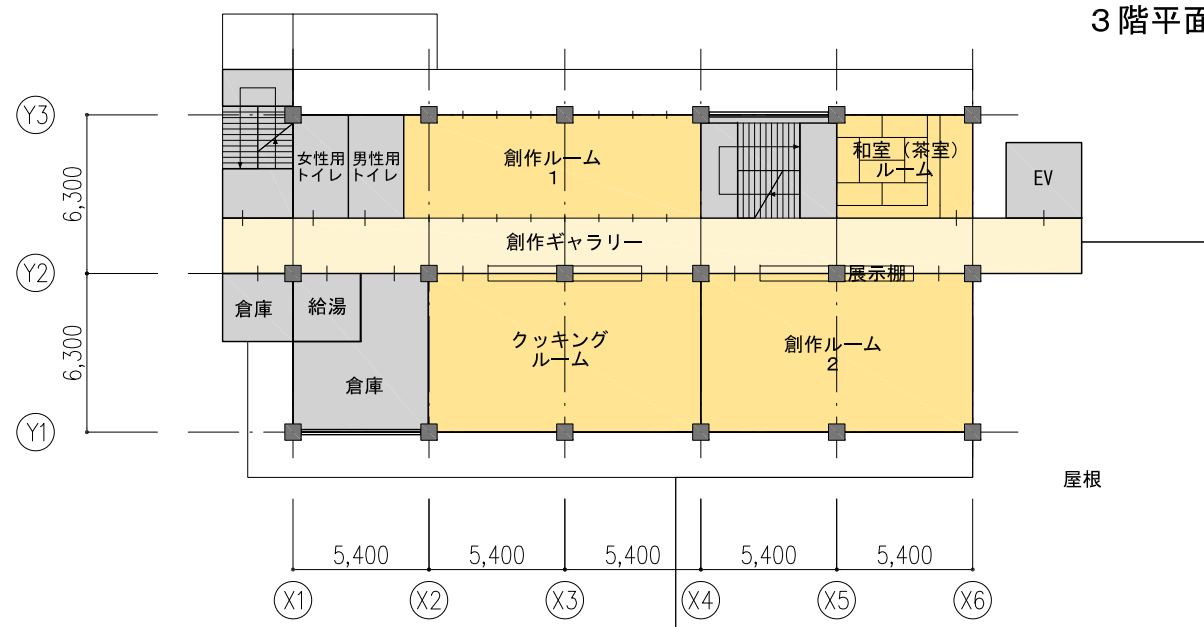
配置図兼1階平面図 (S=1/600)



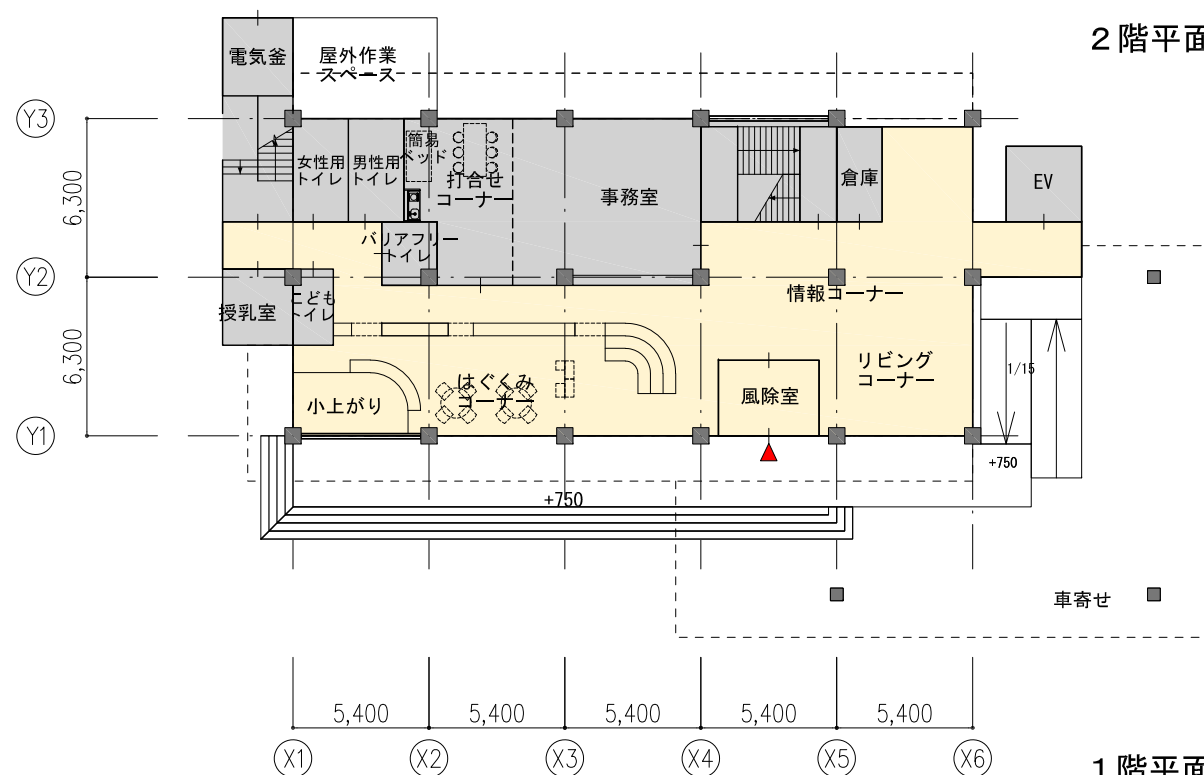
公民館平面図 (S=1/300)



3階平面図



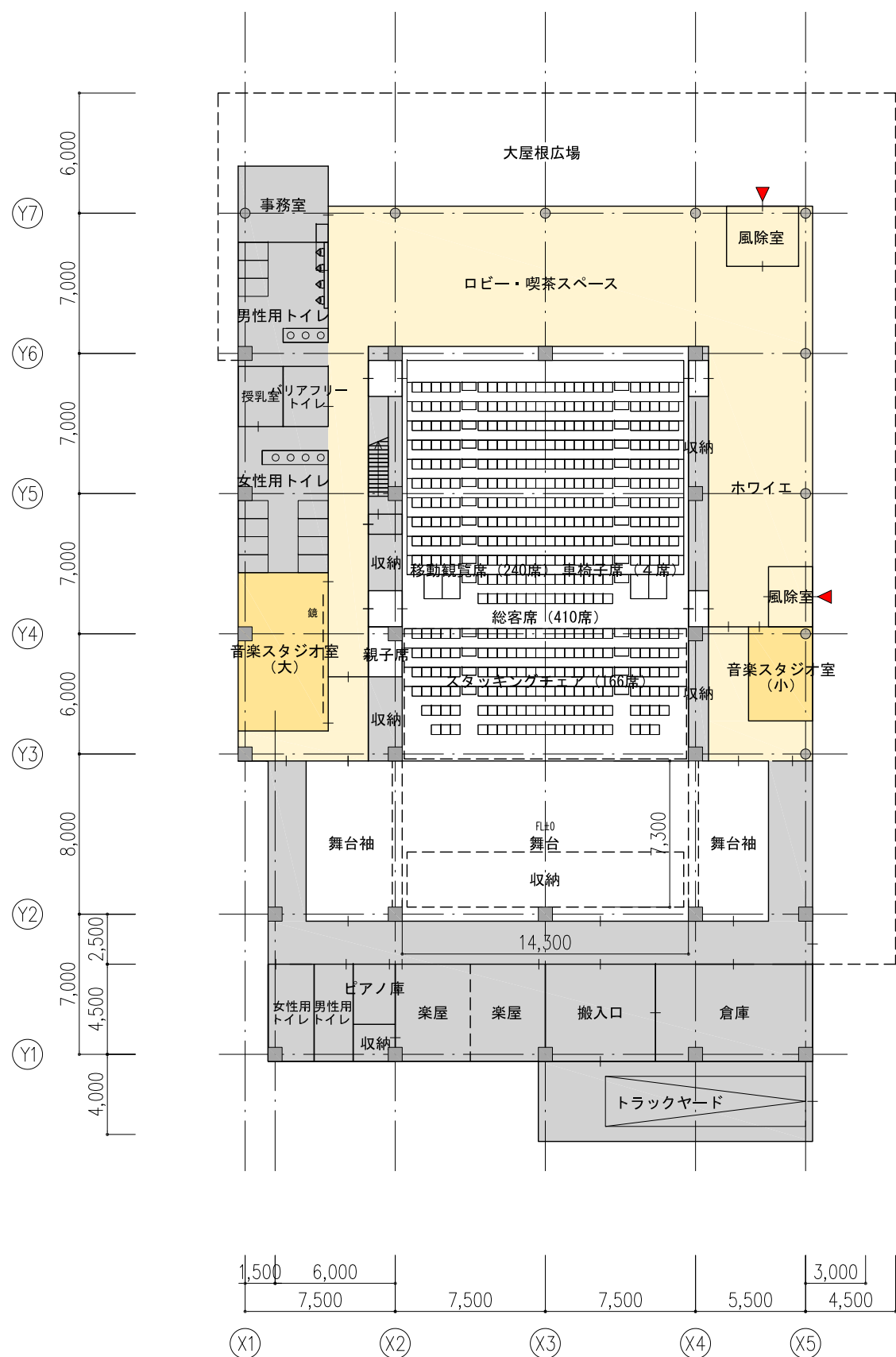
2階平面図



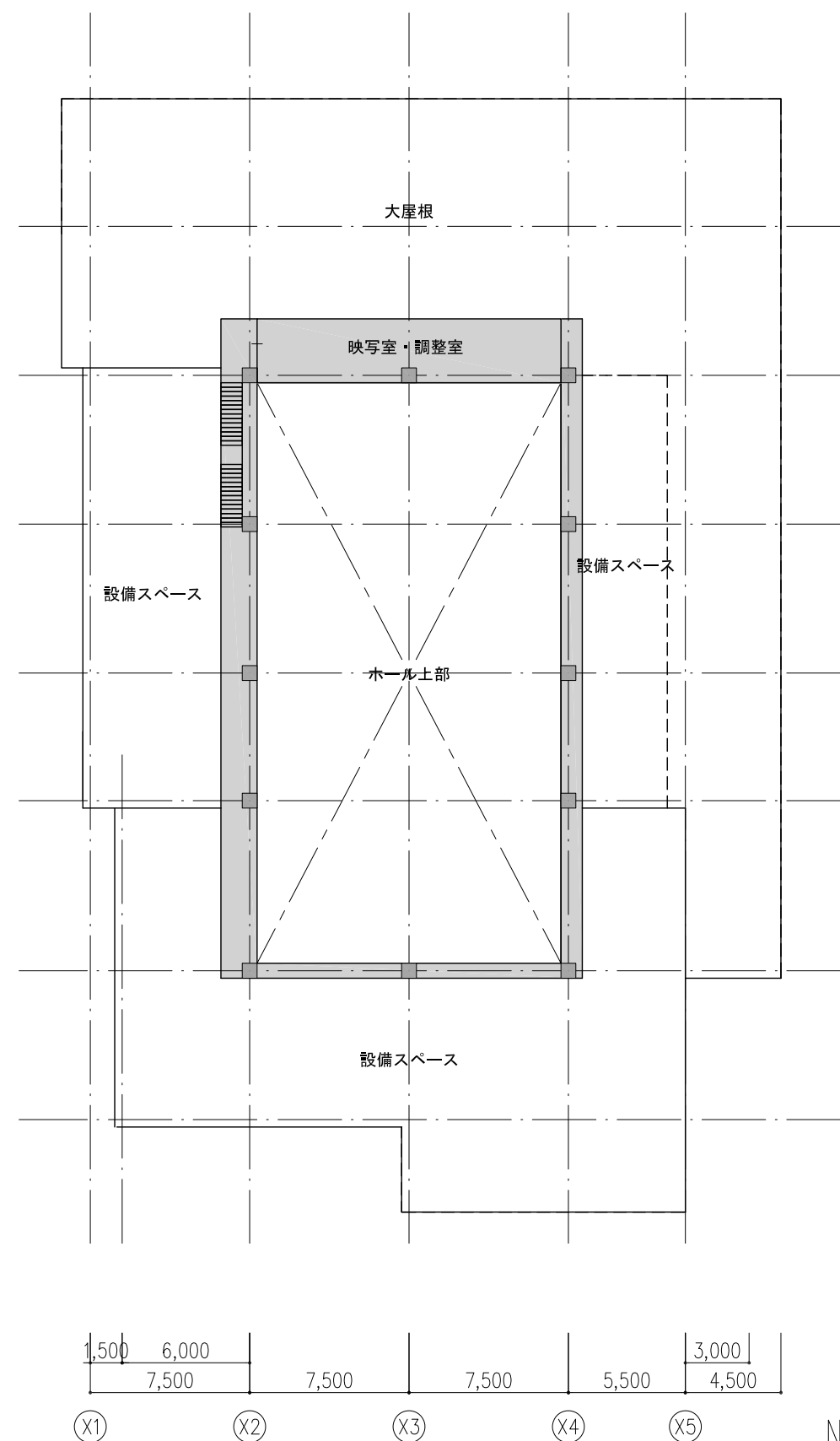
1階平面図



ホール平面図 (S=1/300)



1階平面図



2階平面図



1.公民館計画の諸室整理表（4/30時点案）

	室名	面積	特徴的な機能等	公民館・ホールの定期利用団体活動想定	新たな利用促進の想定 (教育・子どもセンターの定期利用団体など)
1階	はぐくみコーナー	約65㎡	クッション性のある床、ソファ他	—	日中は子連れ利用 夕方は若者が利用を想定
	リビングコーナー	約45㎡	ソファ席・椅子・テーブル	—	高齢者から若者まで多世代が利用
	情報コーナー	約10㎡	展示パネル	—	まちの魅力発信
	事務室	—	事務・打合せスペース、救護コーナー他	—	—
	男性用トイレ	—	ベビーチェア、手摺	—	—
	女性用トイレ	—	他	—	—
	バリアフリートイレ	—	オストメイト・ベビーチェア	—	—
	子どもトイレ	—	子ども用小便器・大便器	—	—
	授乳室	—	オムツ用ベット・シンク他	—	—
	倉庫	—	—	—	—
電気釜・屋外作業スペース	—	電気釜・屋外作業スペース	—	—	
廊下等	—	—	—	—	
		395㎡			
2階	クッキングルーム	約65㎡	キッチン・椅子・机他	料理	—
	和室（茶室）ルーム	約20㎡	畳・炉	華道、着物リメイク、茶道、箏曲	—
	創作ルーム1	約45㎡	机・椅子	詩吟、民謡、大正琴、押し花、書道、ハーブ & アロマ、ねんど作品、彫刻の制作	—
	創作ルーム2	約65㎡	工作机・椅子・水場	水彩画、油絵、作陶	—
	男性用トイレ	—	ベビーチェア、手摺他	—	—
	女性用トイレ	—	—	—	—
	倉庫	—	—	—	—
	給湯室	—	—	—	—
廊下等	—	展示ギャラリーの設置（壁面に展示棚）	—	各活動での創作物を展示	
		389㎡			

	室名	面積	特徴的な機能等	公民館・ホールの定期利用団体活動想定	新たな利用促進の想定 (教育・子どもセンターの定期利用団体など)
3階	ハイカウンターコーナー	約20㎡	ハイカウンター・観葉植物	—	学生の自習等 テレワーカーの利用
	ミーティングルーム1	約45㎡	机・椅子他	パソコン、語学、囲碁	囲碁
	ミーティングルーム2	約65㎡	フローリング・机・椅子・移動式間仕切り	手話、日本舞踊、養生体操、パソコン、語学、囲碁	ベビーマッサージ、ヨガ、ママのトレーニング
	あめやまロビー	約45㎡	机・椅子・ソファ他	—	多世代の憩い
	まなびのルーム	約45㎡	机・椅子他	—	学生の自習等 老若男女の学び等
	男性用トイレ	—	ベビーチェア、手摺	—	—
	女性用トイレ	—	他	—	—
	給湯室	—	—	—	—
	倉庫	—	—	—	—
	廊下等	—	—	—	—
		404㎡			
延床面積		1188㎡			

屋外	芝生広場	約300㎡	芝生	—	トラックマルシェ等
----	------	-------	----	---	-----------

2.ホール計画の諸室整理表（4/30時点案）

	室名	面積	特徴的な機能等	公民館・ホールの定期利用団体活動想定	新たな利用促進の想定 (教育・子どもセンターの定期利用団体など)
1階	ロビー・喫茶スペース	約175㎡	モニター・椅子・ソファの設置（喫茶スペース）	公民館での活動団体の成果発表（ロビーコンサート、展示）	日常的に憩いや飲食の場としても利用 パネルの設置による展示
	ホワイエ	約70㎡	椅子・ソファの設置		
	客席	約300㎡	ロールバックチェア（平土間利用可能）	よさこい、太極拳、ピアノ、フラダンス、日本舞踊、箏曲、合唱、養生体操	社交ダンス、フラダンス、健康体操、空手、ヨガ、スロ-エアビクス、卓球、スポーツチャラ、ママのトレーニング、キッズスポーツ 大屋根広場・ロビー・ホールの一体利用により、祭等のイベントで利用可能
	舞台	約120㎡	ステージ		
	事務室	—	—	—	—
	授乳室	—	オムツ用ベット・シンク他	—	—
	音楽スタジオ（大）	約35㎡	アップライトピアノ、鏡他	よさこい、ピアノ、フラダンス、日本舞踊、箏曲、合唱、養生体操	フラダンス、健康体操、空手、ヨガ、スロ-エアビクス、ママのトレーニング
	音楽スタジオ（小）	約15㎡	—	音楽	脳トレドラム・若者のバンド活動
	袖舞台	約65㎡	—	—	—
	親子席	—	椅子	—	親子での鑑賞を促進
	男性用トイレ	—	ベビーチェア、手摺他	—	—
	女性用トイレ	—	オストメイト・ベビーチェア	—	—
	バリアフリートイレ	—	—	—	—
	倉庫・収納	—	—	—	—
	楽屋	—	—	—	—
	ピアノ庫	—	グランドピアノ	—	—
	トイレ（演者用）	—	—	—	—
	トラックヤード	—	—	—	—
		1271㎡			

	室名	面積	特徴的な機能等	公民館・ホールの定期利用団体活動想定	新たな利用促進の想定 (教育・子どもセンターの定期利用団体など)
2階	映写室・調整室	—	—	—	—
	廊下等	—	—	—	—
		60㎡			
延床面積		1331㎡			
屋外	大屋根広場	約250㎡	ガラス張り・大屋根	—	移動販売車・フリーマーケット等

1.全体計画について

No	確認・検討を要するこれまでの整備検討委員会でのご意見・講評等	基本設計素案（4/30時点）における考え方等
1	「誰もが気軽に参加できる」施設としたい	・開放的な設えにすることで、内部でのいきいきとして活動やにぎわいの様子が垣間見え、気軽に立ち寄り、参加したくなる施設を目指して計画します。
2	利用者が安全に横断できる環境の整備	・横断歩道の移設を計画します。
3	防災備蓄倉庫の規模	・必要となる物資やその規模について検討して決定します。地下倉庫等の活用を含め配置を検討します。
4	停電時はどれくらいの電力を維持したいか	・建築基準法における非常照明の基準に沿って計画します。
5	10人程度で使える部屋があるとよい。（町全体での会議室の供給事情を踏まえる必要はあるが）	・公民館3階部分を中心に、様々な規模で利用できるスペースを計画します。
6	空調管理が部屋ごとにできるシステムとしてほしい。	・小部屋は部屋毎に空調管理ができる計画とします。
7	来館時や部屋の移動の部分で高齢者への配慮が必要	・公民館にエレベーターを新設し、上階への移動を容易にできる計画とします。
8	喫煙所を設けるのか	・喫煙所を設けない予定とします。
9	公民館とホールの共有利用ができるようにすべき	・共有利用ができる計画とします。
10	無断駐車対策	・駐車場内において無断駐車が発生しにくい配置計画を検討します。
11	緊急時に対応できる医務室を設けてはどうか。	・緊急時に対応できるよう、事務室の一角に簡易ベッド等が設置できるようなスペースを確保します。
12	安全性向上のため、敷地の車両出入口を複数設け、また、公民館とホールをつなぐ地下道路を整備してはどうか。	・歩道の分断を極力避けるため車両出入口は、公民館及びホールそれぞれ1カ所ずつの計画としています。 ・地下道の設置は、費用対効果を考慮して整備しない方針とします。
13	車寄せを整備すべき	・公民館及びホールの両方に車寄せを設置する計画とします。
14	近くに小学校があるので工事期間中の安全確保が必要	・工事期間における安全対策を十分に考慮した計画とします。
15	大人の見守るなか子どもたちが集まって、ふれあえるフリースペースの確保	・公民館1階西側のエリアにキッズコーナーを拡充し、親子や子ども同士が触れ合える「はぐくみコーナー」の設置検討を行います。
16	若者や子どもたちに利用してもらうためには、洗練された空間が必要	・多世代の利用者を想定し、「まなび」「あそび」「創作」などさまざまな活動が可能な空間にふさわしい内装計画及び照明・設備、家具・備品等の計画を検討していきます。
17	防災拠点としての機能確保	・救援等の大型車両の進入・駐車が可能な敷地整備、支援物資の受入れ拠点やマンホールトイレの設置等を検討しています。
18	SDGsの考え方を反映	・基本構想P10において、特に「目標4（教育）：すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。」「目標13（気候変動）：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。」を踏まえて施設整備を行うこととしています。 ○目標4（教育）について 公民館を1～3階にゾーニングし、多様なニーズに対応できるよう、充実した機能を備えた諸室や質の高い個人向けの学習環境の整備を通じて、生涯学習の機会を促進します。 ○目標13（気候変動）について 太陽光発電設備の設置など再生可能エネルギーを導入するとともに、自然採光や自然換気などの自然エネルギーの利活用、負荷低減につながる人感センサーや高効率な設備機器などの導入を検討します。
19	喫茶スペースの確保	・公民館の1階リビングコーナーや3階あめやまロビー、ホールのロビーに気軽にお茶を楽しめるスペースを配置します。

No	確認・検討を要するこれまでの整備検討委員会でのご意見・講評等	基本設計素案（4/30時点）における考え方等
20	緑が少ない	・可能な限り駐車台数を確保する計画としながら、四季が楽しめる植栽による屋外環境の整備について検討を行います。
21	感染症対策	・空調設備による機械的な解決方法に加え、受付廻りの待機スペースなど検討を行います。
22	ユニバーサルデザインの取り組みの中で高齢者への配慮が乏しい	・十分な幅員の通路や段差がない平面、引戸の設置、利用しやすいトイレの計画を行います。
23	駐輪場が少ない	・熊取町開発指導要綱における駐車場・駐輪場に関する施行基準に基づき、町関係部局と協議・検討します。
24	わかりやすいサインの工夫	・サイン表示の大型化や、ピクトによるサインなど分かりやすさに配慮したサインデザインとします。
25	高齢者に配慮した休む・座る場所	・建物内外にベンチやテーブルを設置します。公民館ではリビングスペースやあめやまロビー、ホールではロビーにイスやソファなどを配置する想定としています。
26	子育て世代が集まるしかけ、子ども連れの使用内容の想定	・公民館1階西側のエリアにキッズコーナーを拡充し、親子や子ども同士が触れ合える「はぐくみコーナー」の設置検討を行います。
27	子どもが飛び出さないキッズコーナーの仕切り	・こどもの年齢に合わせて配慮し、空間の仕切りや床の仕上げなどに配慮した計画とします。
28	雨水利用は必要か。コストが高くなるのが懸念される	・イニシャルコストとランニングコストの比較検証を行い、採否を検討します。
29	工事中の近隣住民への配慮はあるか	・工事車両の安全対策を確実にできる計画とします。
30	工事中の重機による騒音に対して防音性はあるか	・低騒音型及び低振動型の重機の採用などを検討します。

2.公民館の計画について（学びや情報交流等の拠点施設）

No	確認・検討を要するこれまでの整備検討委員会でのご意見・講評等	基本設計素案（4/30時点）における考え方等
1	クラブ・サークルの備品などの保管場所の確保	・倉庫を1階から3階の各階に整備し、クラブ・サークルの備品等の保管についてもスペースが確保できるように検討します。
2	子どもから高齢者までの交流の場を創出	・1階エントランス横にソファを配置した「リビングコーナー」を設け、他世代交流のスペースとして計画しています。
3	EVは荷物を運ぶために必要である	・エレベーターを新設し、車いす使用者や、ストレッチャー対応、荷物の輸送等を容易にできる計画としています。
4	自習室を設けてほしい	・集中して自習できる環境を整えた専用自習室を、3階に整備します。（町としては、生涯学習推進に関する基本理念の下、社会の形成者である住民を育成することを目指しており、質の高い自習室の整備は、住民のニーズが高く、新たな利用促進を図るという点でも重要項目と考えています。）
5	EVの設置場所	・公民館の東側に新設設置する計画です。
6	耐震補強は外観が醜悪にならないか	・耐震診断の結果を十分に精査した上で、ブレースが外観に現れない柱梁のみを補強する方法など、意匠性に配慮した工法を検討します。
7	教育・子どもセンターより大きな体育室がほしい	・ホールは、平土間として運動などさまざまな活動が可能な計画としています。
8	大会議室の2倍程度の部屋が欲しい	・公民館3階部分は学びのフロアとして、会議や講演会が開催できるスペースを設けています。ホールでは平土間として大きなスペースで運動などができる計画としています。
9	部屋が細長く、廊下が狭い	・費用対効果を考慮し、既存の公民館を活かしながら、可能な限り開放的で使いやすくリニューアルできるよう検討します。
10	調理実習室は希少価値がある	・公民館の2階に設置する計画としています。
11	作陶する際の「釉薬掛け」は薬剤が周辺に飛ぶので屋外の作業スペースが欲しい	・電気釜の更新と併せて、釉薬掛けの作業スペースを屋外で確保します。
12	音楽活動ができる大小の部屋	・ホールのリハーサル室を音楽スタジオ利用できる計画とします。また音楽スタジオ（小）を新設します。
13	茶室内部のリフォーム、設備・備品の充実 （音響拡声装置、リモコンスイッチ付シーリング、LEDライト、ウェルカムボード、手元投影機）	・使われ方に配慮し、室内の仕上げや設備、備品の計画を行います。
14	トイレを増やしてほしい。	・規模や使われ方を考慮して、必要数を検討します。
15	太陽光発電を設置できるか	・イニシャルコストとランニングコストの比較検証を行い、採否を検討します。
16	あめやまロビーは必要か。物置スペースでもいいのでは。	・フリーの自習スペースとして学生の利用促進や会議室のホワイエ利用、休憩スペース、フリースペースとして有効活用できると考えています。
17	WCは3階になくてもいいのでは	・学びのフロアとして、会議室や自習室を利用いただく方の利便性に配慮して必要であると考えております。
18	西側の倉庫も体育室の椅子収納の為必要	・必要な収納スペースについて、十分に検討し確保する計画とします。
19	1階の半外部空間を内部化できないか	・既存スペースを有効活用して新しい施設を作る計画としています。費用対効果も考慮し、現案が望ましいと考えています。
20	1階に文化振興連絡協議会用の事務室がいるのでは	・事務室の一角を区切って、打合せ等ができるスペースを設けます。
21	1階のPCコーナーは必要か	・3階ハイカウンターコーナーでテレワーク等を気軽に利用していただくことを計画しています。


2. 公民館の計画について（学びや情報交流等の拠点施設）

No	確認・検討を要するこれまでの整備検討委員会でのご意見・講評等	基本設計素案（4/30時点）における考え方等
22	エントランスは事務室の正面がいいのでは	・ホールからの動線を考慮した位置としています。事務室からは1階全体が見渡せるのでセキュリティ的には問題ないと考えています。
23	1階の用途が多すぎるのではないか	・親子の利用を考慮した「はぐくみコーナー」と他世代が交流する「リビングコーナー」を配置する計画とします。
24	2階の展示コーナーは人気がないため1階のほうがいいのでは	・作品展示を2階で行うことで、積極的に上の階にさまざまな人を誘因する装置として機能し、またそこでさまざまな交流が生まれることを期待しています。

3.ホールの計画について（文化芸術活動の拠点施設）

No	確認・検討を要するこれまでの整備検討委員会でのご意見・講評等	基本設計素案（4/30時点）における考え方等
1	ホールは平土間にして、ダンス等に利用できるよう整備することが必要	・平土間利用と座席利用の切替えができる計画としています。
2	成人式を行いたい	・過去の成人式の舞台レイアウトを参考に、舞台レイアウトが可能な計画とします。
3	何に重点を置くのか	・幅広い世代の方々に、日常的に気軽に利用しやすいホールに重点を置いて計画しています。また、発表会や講演会、プロによる公演にも対応しうる設備・機能を備えたいと考えています。
4	トイレを入り口付近に作ってほしい	・ロビーやホワイエでの人々の活動に考慮して、トイレは西側に集約的に配置する計画としています。
5	車いす席は、障がい者にもやさしいものにしたい	・出入口の近くに車いす使用者のスペースを4席確保する計画としています。
6	音楽、演劇に対応できる音響設備	・残響時間の調整を行い、幅広い活動に対応をできる計画とします。
7	職員が操作できる簡単な音響設備	・簡易に操作できる設備の検討を行います。
8	たまに使うくらいではもったいない	・さまざまな利用団体が活動されており、日常使いができる施設と考えています。
9	建物をどこに配置すべきか	・さまざまな活動を想定し、ホールの必要面積の確保や舞台と客席のレイアウト、利用者の動線、駐車場への動線の確保、日影の影響、近隣建物との関係性など総合的に判断し、現計画の建物配置としました。
10	建物・付随する設備（駐車場・駐輪場）」とホールの延床面積（規模）のバランスが重要。	・熊取町開発指導要綱における駐車場・駐輪場に関する施行基準に基づき、町関係部局と協議・検討します。
11	換気性能を確保すべき	・自然換気ができるように高窓を設置します。換気が確実にできる設備計画とします。
12	楽屋、リハーサル室を整備してほしい	・適正な規模や配置について考慮した楽屋及びリハーサル室（音楽スタジオ（大））の計画を行います。
13	舞台を15m×10mにしてほしい。	・敷地と建物の関係や必要な諸室を考慮し、現計画では15m×8m程度としています。
14	木を使ったホールも可能	・大屋根やホールの天井や内装材に積極的に活用できるよう検討します。
15	女子トイレ、障害者トイレが少ないのでは	・規模や実際の使い方などを考慮して、必要器具数を検討します。
16	大屋根広場と道路の間の安全対策	・道路に飛び出さないように乱横断防止策の設置を検討します。
17	ガラス張りは台風時に被害拡大しないか	・耐風圧の計算によりサッシの強度やガラスの厚みの検証を行います。ガラスには飛散防止対策としてフィルムを設置する計画です。
18	熊取町らしさが感じられない	・内外部の仕上げやしつらえで熊取らしさが感じられる具体策について検討します。
19	来客用控室が必要では	・リハーサル室（音楽スタジオ（大））を使用していただく想定としています。
20	固定席にするかロールバックチェアにするかの比較検討	・運動などの活動において、平土間利用の想定が多いことから、ロールバックチェアが有効と考えています。
21	エアコンの音量への配慮	・室内の騒音値（NC値）目標を設定し空調機の消音を図るダクトの設計を行います。
22	ロビー、ホワイエの多世代交流のイメージがみえない	・生徒や学生が学校帰りにロビー空間などで学習をするイメージと、ホールや活動室をガラススクリーンで内部を見せる空間として、利用者との出会いをイメージしています。
23	客席と舞台の高さは同じか	・前方の座席のエリアは床を下げることで視野角を確保する計画としています。
24	キッズスペース、事務室がホワイエからやや遠い、キッズスペースの考え方、子どもが遊べる場所が少ないので子育て世代が安心してくつろげない	・公民館1階西側のエリアにキッズコーナーを拡充し、親子や子ども同士が触れ合える「はぐくみコーナー」の設置検討を行います。
25	車寄せからトイレがやや遠い	・ロビーやホワイエでの人々の活動に考慮して、トイレは西側に集約的に配置する計画としています。
26	ガラス張りすぎて道路からみられることで落ち着かないのでは	・内部の活動が垣間見えることで、積極的に参加してもらえるような施設としたいと考えています。

基本設計策定までの進め方について

5月初旬	5月広報紙による周知 別添のとおり
5月上旬～中旬	定期利用団体に対する意見聴取 定期利用団体代表者に対して、基本設計（素案）を送付し、意見等については、メールやFAXにより聴取します。また、希望がある場合は、対面でのヒアリングによる意見聴取も行います。
6月上旬～中旬	第9回整備検討委員会（第2回基本設計策定委員会） 前回（第8回）における意見や定期利用団体から聴取した意見等を踏まえて更新した基本設計（素案）の確認を行い、新たな意見等を聴取します。 この会議における基本設計（素案）を基に、以下に各会議等において意見聴取を行います。
6月11日	教育委員会定例会における意見聴取
6月17日	議員全員協議会における意見聴取
6月下旬	社会教育委員会議における意見徴収
6月中旬～下旬	社会教育施設等での基本設計（素案）の縦覧による意見聴取
7月下旬	第10回整備検討委員会（第3回基本設計策定委員会） これまでの会議等により聴取したすべての意見を踏まえ、更新した基本設計（素案）の確認を行い、基本設計（案）として決定します。  熊取町において、基本設計の確定を行います。

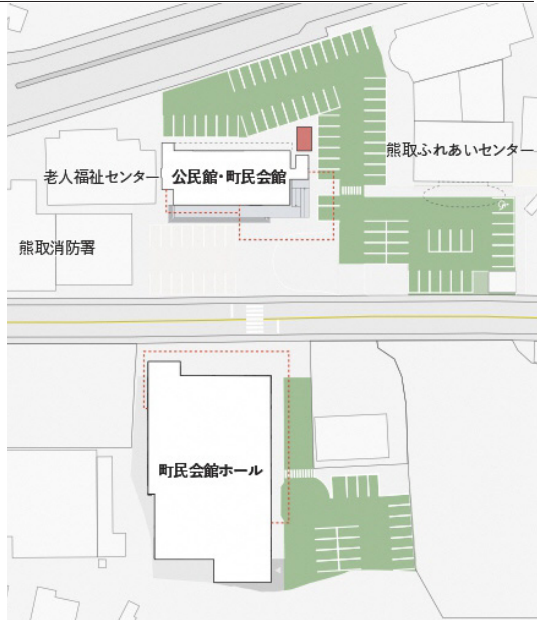
* 整備検討委員会については、基本設計策定作業の進捗状況に応じて、開催回数が増減する場合があります。



(注) 画像は、公募型プロポーザル審査時の設計業者の考え方を表したイメージであり、設計案ではありません。

Renewal

熊取の文化芸術の未来を紡ぐ 公民館・町民会館ホールをリニューアルします!!



昭和45年に開館した公民館・町民会館ホールは、築50年が経過し、老朽化が進んでいることから、学びや交流の拠点となる公民館と、文化芸術活動の拠点となる町民会館ホールをリニューアルします。

SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、環境に配慮した施設整備を進めるとともに、開放感にあふれ、だれもが気軽に集い、まちのシンボルとなる施設を目指します。

今後、基本設計を策定するにあたり、基本設計(素案)を公民館等で縦覧しますので、ご意見をお聞かせください。

基本コンセプト

- すべての住民があらゆる場面で出会い、学び、育ちあう、文化創造施設
- ①「やすらぎ」と「ほほえみ」のまちの実現
 - ②住民が主体となり、あらゆる場面で出会い、学び、育ちあうための施設
 - ③誰もが安全・安心に利用でき、効率的・安定的に運営できる施設
 - ④各施設の機能の有効活用と施設配置の適正化

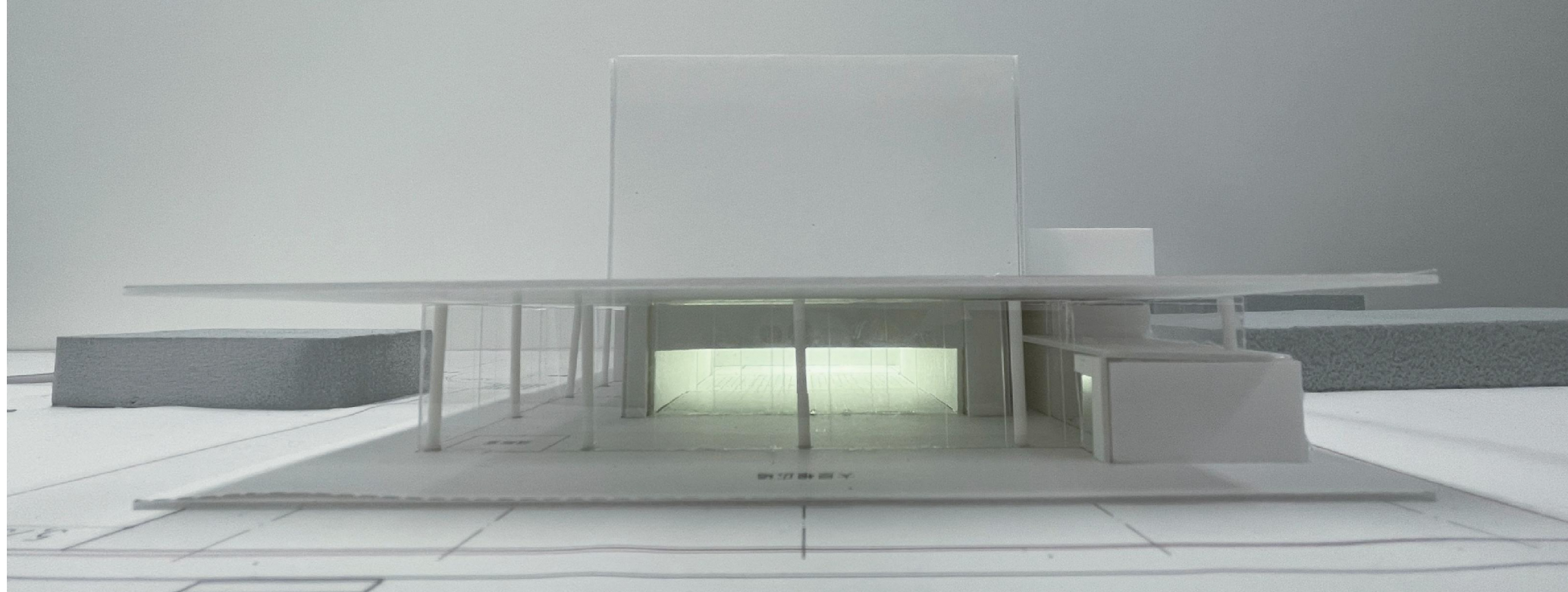
基本設計・実施設計の委託業者が決定しました

株式会社アール・アイ・エー大阪支社

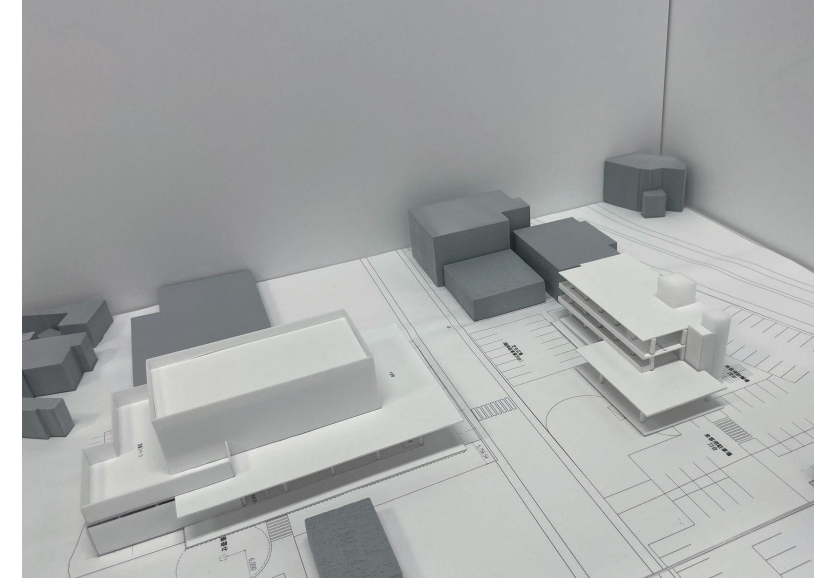
問い合わせ

生涯学習推進課(煉瓦館内)
☎ 4533・0391

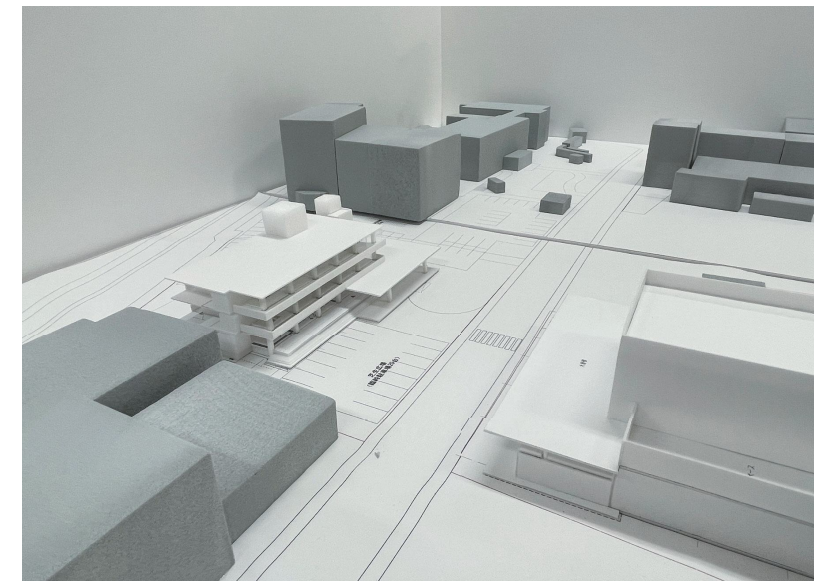
参考 模型写真



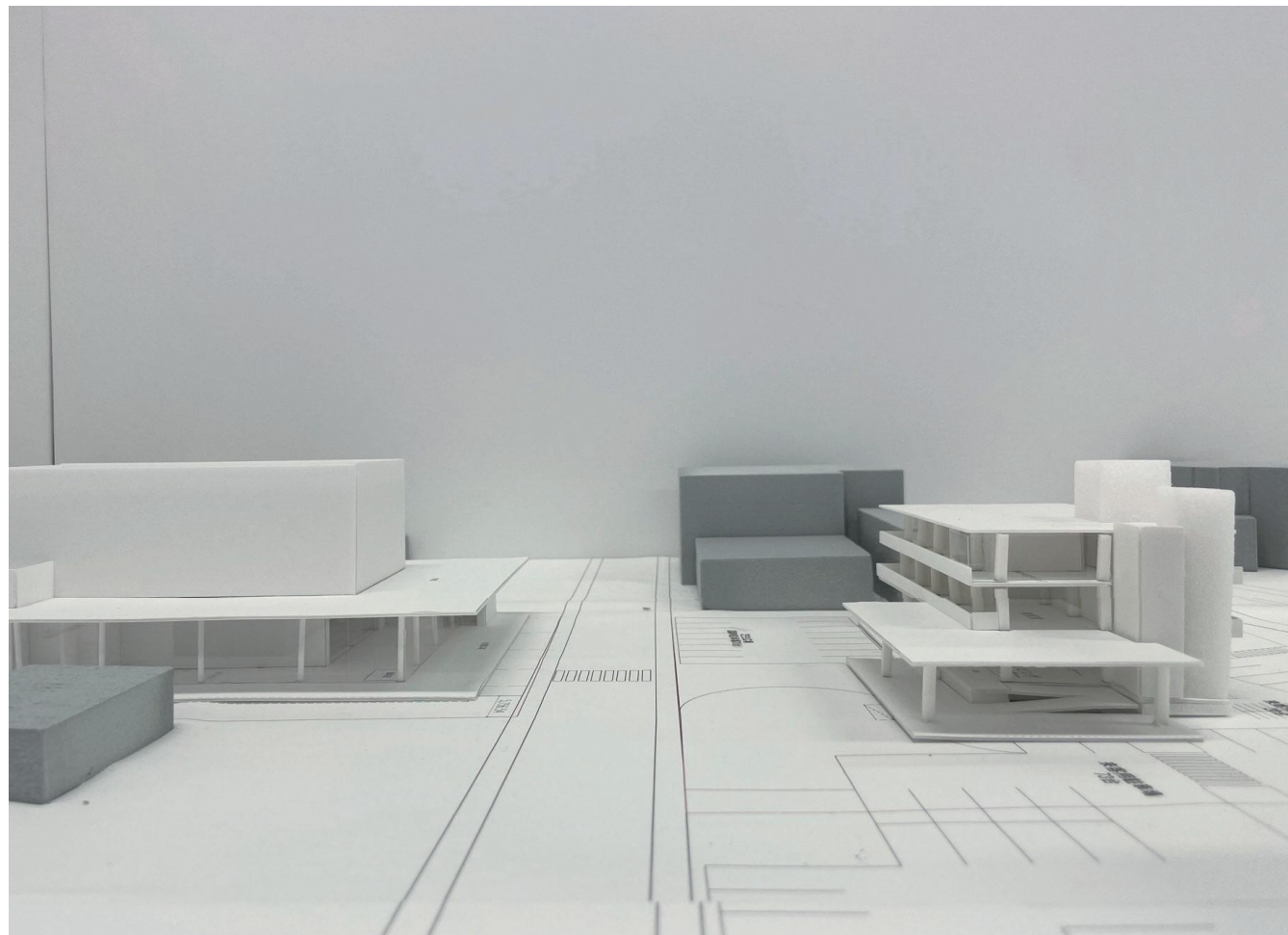
ホールを正面からみる



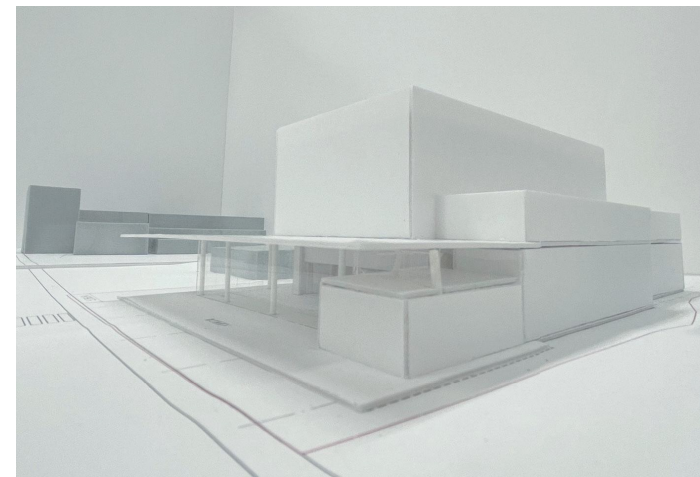
南東側より計画建物をみる



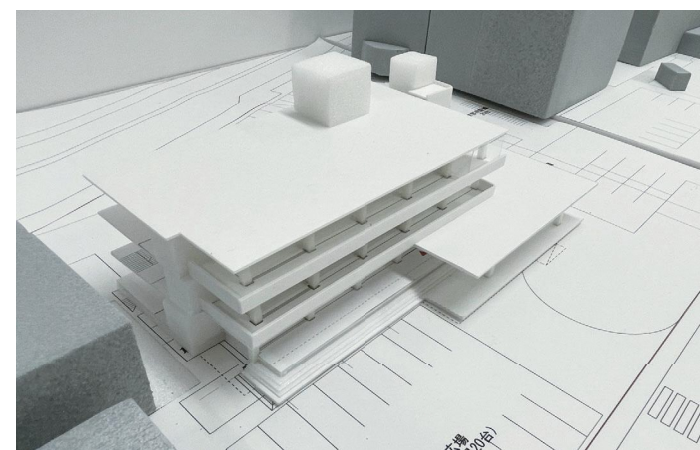
役場等の計画敷地周辺の公共施設をみる



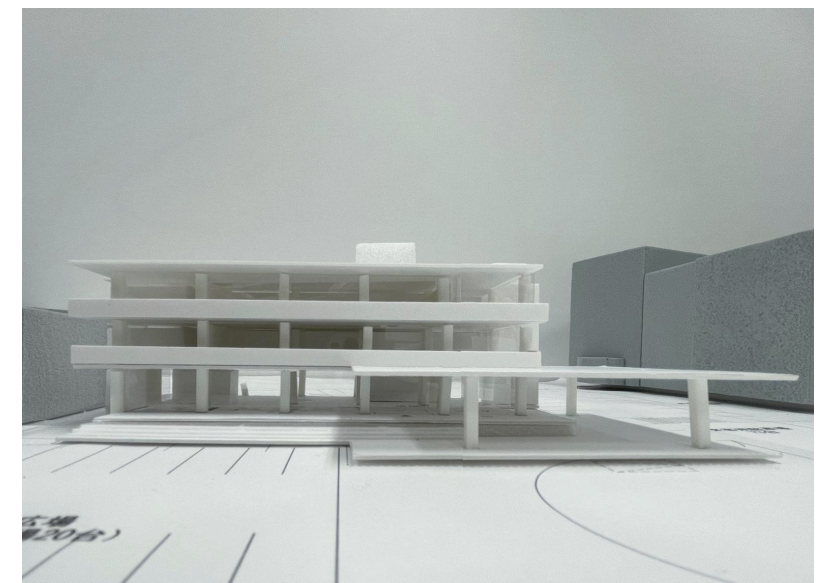
計画建物を東側からみる



北東側よりホールをみる



西側より公民館をみる



公民館を正面からみる